

3. 投石ブロックにおける着生状況

図一Ⅲに示されるように1ブロックにおける着生個体は各地域とも50~100個体で着生量は、久志漁場で平均900~1,000gであった。

投石ブロックの着生状況は、ほとんどが側面着生で上面着生は少ない。したがって、1ブロック当りの生産を増やすのには沈下ブロックの「置きかた」等についても今後検討する必要がある。

4. 今後の問題点

(1) 技術的な面については

- イ) 地域別に環境調査を実施し効果的な投石適期の把握
- ロ) ブロックの着生有効年数と混生藻との関係
- ハ) 沈下ブロックの「置きかた」による着生量の把握
- ニ) ブロック以外の人工海藻及びモバ移植による天然漁場の造成
- ホ) 網ヒビとブロックの増殖効果の検討

(2) 流通面については

流通の問題については、県下の出荷体制のありかたを具体的に検討するとともに、本土の市場状況を把握することが当面の課題ではないかと考える。